

上下水道事業の現状と今後の計画 (R3~R12)

上水道事業

現状は？

5,895 戸に給水している。 1 日平均 4,200m³供給 (R3年1月現在)
一般住宅、共同住宅建設による使用者増、地下水から上水道への切り替え
便所の水洗化等水量増加



財政状況は？

- ・新規加入・井戸水からの切り替えにより給水収益増加
- ・給水人口は今後増加傾向、料金収入も増加傾向
- ・将来的には人口減少が予想される。多額の管路更新費用が必要になる

今後の計画・対策は？

- ・管渠の法定耐用年数 40 年。適切な維持管理により使用年数の延長を図る
- ・更新時期を分散・平準化した更新計画を立てる
- ・機械設備、電装などの設備点検により、随時設備更新を行う

下水道事業

現状は？

全体計画 550ha のうち、308.6ha (56%) 面整備完了予定
利用件数 2,260 件 (R2年度末現在)



財政状況は？

- ・負債（借金）が大きい
- ・年々起債償還額が増加し、一般会計から補助している
令和元年 起債残高 27 億 3,870 万 5 千円

	起債償還金	一般会計から補助
令和2年度決算見込み	9,551 万 7,143 円	1 億 6,906 万 7 千円
令和3年度予算	1 億 819 万 7 千円	1 億 7,428 万 5 千円

- ・汚水処理構想及び全体計画の見直しを行う

今後5年間の整備予定地区は？

久泉 長延 北新代 智徳 一條の各地域の一部

Q 料金の見直しはあるか。

A 経営改善、末端の施設等の負担金の軽減を最優先し、料金改定にならないようにする。

Q マンホールポンプは何基か。

A 智徳地区に2基必要である。

Q 全体的計画の見直しもあるのか。

A 面整備を1億5千万円程度に抑え、起債償還をなるべく減らし経営改善を、まず進める。